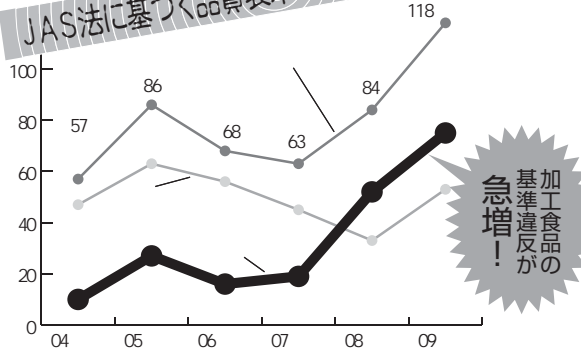


人に 良い もの を守り たい

今、食の安全が危ない!?

JAS法に基づく品質表示基準違反は年々増加



食品関連産業に携わる私たちは、安全な食品を提供する責任と役割を担い、職場でいろいろな仕事を任されています。私たちが日々感じる、「これで大丈夫だろうか?」「これっておかしくないか?」「社内ルール通りに行っている!」などのチェック機能がまさに企業の生命線であり、私たちの雇用や労働条件、生活の安定に繋がっていきます。

労働者一人ひとりが自覚を持ち、細心の注意を払って衛生管理・品質管理を行い、食の安全の確保やコンプライアンスの遵守を徹底していきましょう。

私たち一人ひとりの自覚と行動が必要です!

仲間の取り組みを紹介します。裏面も参照して下さい。

セルフチェック実施

職場風土のセルフチェックを実施し、この結果から、「今後、会社がすべき取り組み」を考え、来期の方針に盛り込みます
(飲料: 労組本部)

注意喚起

暑い時期は、サンプルを長時間車に放置しない・賞味期限をしっかりと得意先に伝える等の注意喚起を実施
(乳業: 営業)



社会産業政策委員会
立石委員長

ア:

フード連合では、食品の安全に対する意識を高めるためにも、まずは皆手掛かりとして、加盟組
います。紙面下部のアン
でご提出頂きますよう、

10

「食の安全」

下記項目で、「私は該当する」場合は、項目欄の□に✓(チェック)を付け、所属の労働組合へご提出ください。

- 私は、食品関連企業に働く者の社
- 私は、労働組合の一員として、食の
- 私は、食の安全を守るため、自分の
-

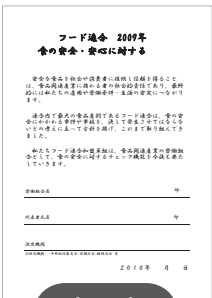
【自由記載】

皆さん
一人ひとりの声を
お待ちしております

安全は私たちの手で守ります！



フード連合全体でも
いろいろ取り組んでマス！



宣言書



ポスター



クリアファイル

フード連合とは…

